

北中だより

校訓：自主 明朗 協同

南島原市立北有馬中学校
令和5年11月29日発行
文責：校長 上田 敏浩

スモールステップで

先日、生まれつき両手足に障害のある、長崎市の中学生スイマーの報道を目にしました。大会で優勝するなどの成績を残しているとのことでしたが、そこに至るまでは、人一倍の練習を重ねてのことではないかと思いついて見ました。そんな彼は、同じ長崎県出身の車いすバスケット選手、鳥海連志選手との出会いで、より努力を重ねてきたようでした。鳥海選手も生まれつき両手足に障害があり、中学1年生の時にバスケットボールを始めたそうです。鳥海選手の著書『異なれ』（図書室にあります）には、彼の思いが綴られています。その中の一つに「バスケットを始めたころから様々な目標を設定し一つ一つクリアしてここまでできた」と書かれていました。大きな目標を実現するために、小さな目標を逆算して、やるべきことを具体的に見定めたとありました。

大きな目標を立てて取り組むとき、いきなり目標にたどり着くのは難しいものです。しかし、小さな目標を立てて、たどり着くための方法を自分で決めてみましょう。それを少しずつクリアすることで、一步一步前に進んでいくことができます。振り返った時に、ここまでできた、ここまでたどり着いたという自信が、自分を創っていくのではないのでしょうか。日々の学習や生活、部活動、進路実現など、いろいろなところで活用できます。あせらず着実な一歩を踏み出して、目標達成に向けて歩み続けてみましょう。

3年生、将来を考える ～租税教室・命の学習～

11月20日（月）、3年生を対象に「租税教室」を行いました。当日は、税理士の緒方隆男さんに、税に関する話をさせていただきました。生徒たちは、社会科で税に関する学習を進めていて、関心を持って話を聞くことができました。財政破綻した夕張市の具体例から、人口流出と税の関わりについても考えを深め、地域の活性化と生活の関わりについて学ぶ機会となりました。また、一人当たりの教育費では、小中9年間で900万円を超える税金が使われていること、国によっては救急車が有料であること等、興味深い話も聞かせていただきました。税金が自分たちの暮らしに直結するものであることや、お互い助け合いよりよい社会を築くことの大切さについて考える、良い機会でした。質問コーナーでは、かつて国税局にお勤めだったところのエピソードも語られ、知らない世界を知ることができました。

<租税教室の様子>



夕張市の話を聞く



いろいろ質問しました

また、11月22日（水）、同じく3年生を対象に、「命の学習」を行いました。

南島原市こども未来課より、助産師をされている、長池良子さん・松川美代さんをお迎えして、命の誕生や大切さについて話をさせていただきました。前半は、赤ちゃん人形抱っこ体験・妊婦さん体験を行いました。赤ちゃん人形抱っこ体験では、人形とはわかっていても、おそろおそろ抱きかかえたり、妊婦さん体験ではおなかの赤ちゃんのことを考えて行動する姿が見られました。

後半の松川さんによる講演では、発育の段階でどれくらいのおおきさなのか、どのように生まれてくるのかを、人形を使って説明していただきました。

また、中高生は、心の関係を作ることが大切な時期であること、興味だけに流されず、今何をすべきかの優先順位をつけて選択していくことについても話をされました。これから先の人生には山のようにいいことがあるから、自信を持って、自分の命を全うするまで生きること、命を大切にすることで話を締めくくられました。将来に向けての在り方を考える、良い機会となりました。

<いのちの授業>

なかなか難しい…



妊婦さん体験



どう動けばいい?



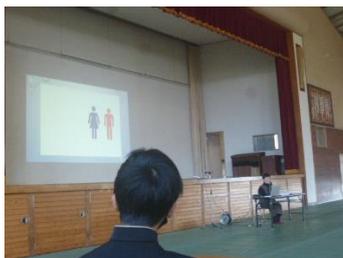
多様性の社会に ～人権講演会～

11月21日（火）、人権学習の一環として、人権講演会を行いました。愛野中学校の黒田真紀先生に、「お互いの尊重～多様な性への理解～」と題して、LGBTQ+について話をさせていただきました。初めに、ランドセルの色は何色だったか、明日好きな色のシャツを着てきていいと言われたら、何色を選ぶかという問いかけから始まりました。無意識の色分けに気づくことや、2007年のピンクシャツ運動の話がされました。性的少数の割合は、約13人に1人という数字から身近にいること、外見ではわからないことやカミングアウトしていないからわからないこと。私たちができることとして、「理解すること」「認めること」「アウティングをしないこと」「差別的な意味合いを含む言葉を言わない」ことなどを話されました。

最後に、3年生の鶴田皓大さんが講演の内容にも触れながら、「差別をしない・させない、そんな世の中になるように、まずは僕たちから変わっていきたい」とお礼の言葉を述べ、講演会を閉じました。以前から言っている「人の嫌がることをしない・言わない」ことも改めて心に刻んで、日々の生活を送ってほしいと思います。



何色のTシャツを選びますか



無意識のうちに



様々な意見を交換

万々に備えて ～避難訓練～

11月27日（月）、今年度2回目の避難訓練を行いました。今回は、地震が発生した後には火災も発生したという想定で行いました。生徒たちは冷静に行動し、2分ほどで全員が運動場まで逃げることができました。避難後の講話では、「自助」（自分の身を守る）、「互助」（家族などを助ける）、「共助」（地域の方を助ける）、「公助」（公共団体が助ける）という言葉をお話いただきました。1か月あたりの島原広域消防本部の火災発生件数は2～3件で、たき火によるものが多いとのことでしたが、車両や建物火災も発生しているとのことでした。避難（防災）に関して日頃から考えておくことが大切という言葉でしめくられました。また、生徒代表による消火訓練も行い、万々の際の行動についてさらに学ぶことができました。将来、島原広域消防本部で働く方を求めていますとのことでしたので、地元で働くことを選択肢の一つとして考えてみてはどうでしょうか。



消火訓練の様子

こんな人に ～島原半島地元企業ガイドブックより～

島原振興局から『島原半島地元企業ガイドブック』をいただきました。その中に、各企業が求める人物像が書かれています。多かった項目を10項目ピックアップしてみました。どこでどのように働くにしても、求められる姿ではないでしょうか。今後の自分の在り方を考える上で、参考にしましょう。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 明るく元気（前向き）な人 | 2 常に向上心のある人 |
| 3 新しいことにチャレンジしたい積極的な人 | 4 礼儀正しく素直な人 |
| 5 協調性がある人 | 6 人と関わりながら仕事をするのが好きな人 |
| 7 郷土を愛する人 | 8 自らの行動に責任が持てる人 |
| 9 自ら考え行動できる人 | 10 相手の立場になって物事を考えられる人 |



※『島原半島地元企業ガイドブック』で検索すると、冊子と同じ内容を、長崎県のホームページで見ることができます。